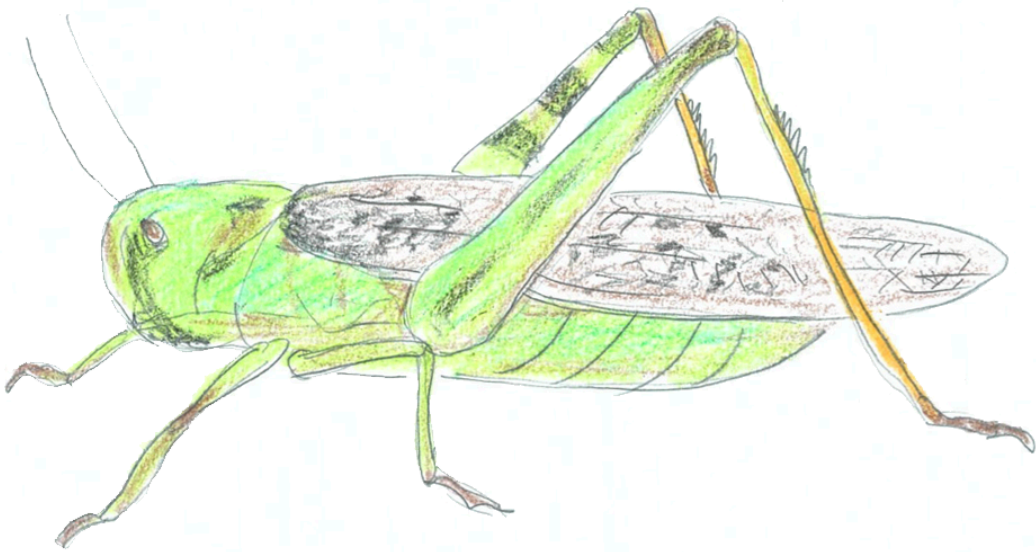


これってちがいがああるの？



小林 碧

目次

- 調べたきっ かけ
- キリギリスとバッタのちがい
- オップバッタとショウリョウバッタのちがい
- バッタとイナゴのちがい
- イナゴはつくだにがあるのになぜほかは食べないのか？
- 自分でと、た虫を調理して食べてみた！
- 食べてみるの感想、味のちがい
- 研究してみるの感想
- さん考文けん

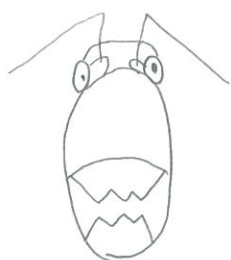
調べたき、かけ

- 小さいころから虫が好きで夏は、いつも虫取りに行き虫の観察をします。
- なんとなくちがいは知、ていたけれど、くわしくは知らなかつた、にている虫同しを調べてみました。
- イナゴのつくだにがあるのを聞いたことはあつたが、他のにている虫たち、キリギリス、バッタ、コオロギなどが、どうしてつくだにとして売られてないのか、気になつたので、味をくらべてみたいと思つた。

キリギリスとバッタの違い

「見た目」

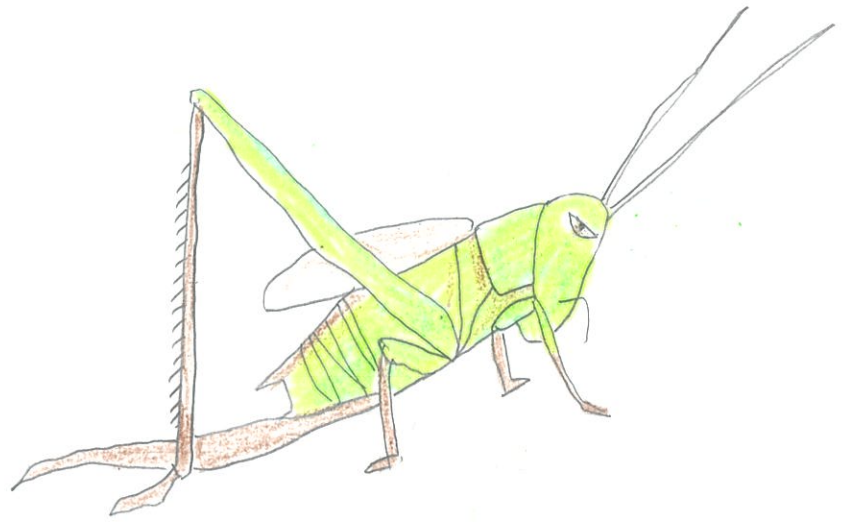
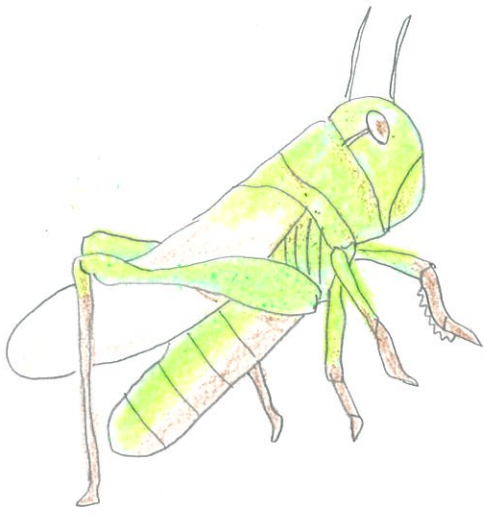
- キリギリスは、体に高さがある。
- キリギリスは、ざ。食でかむのにてきした大あごがある。バッタは草食なので小さいあごである。
- キリギリスは、バッタより体が短い。
- バッタのこまく（音をきく部分）がはらのよこにあるけどキリギリスは前足のつけ根にある。
- キリギリスは、肉食せいで足のトゲが、バッタより大きくて、多い。バッタは草食性だがキリギリスは、肉食せいが強いいため、え物をしっかりとつかまえるため、トゲが深い。
- キリギリスのしょっかくが自分より大きい。バッタは、キリギリスにくらべてとても短い。
- キリギリスのメスは、バッタのメスにくらべてさんらん管が長い。



キリギリスのあご



バッタのあご



バッタ

- しゅっかくが短い
- 足のとげが小さい
- さんらん管が発たつしてない
- 後あしが短い

キリギリス

- しゅっかくが長い
- 足のとげがすどく長い
- さんらん管が発たつしてる
- 後ろあしが長い

「生息地」

- キリギリスはせが高い草やススキなどの中にいることが、バッタは、ひくい草の中にいることが多い。

「なき方」

- キリギリスは、左右の羽をふるわせて音をならす
- バッタは足の内がわを前の羽にこすり合わせて音を出す。

さい集して実物をよく、奮見察してみました。

1:7,000

0 100 200 300 400m

地図上の1センチは70メートル

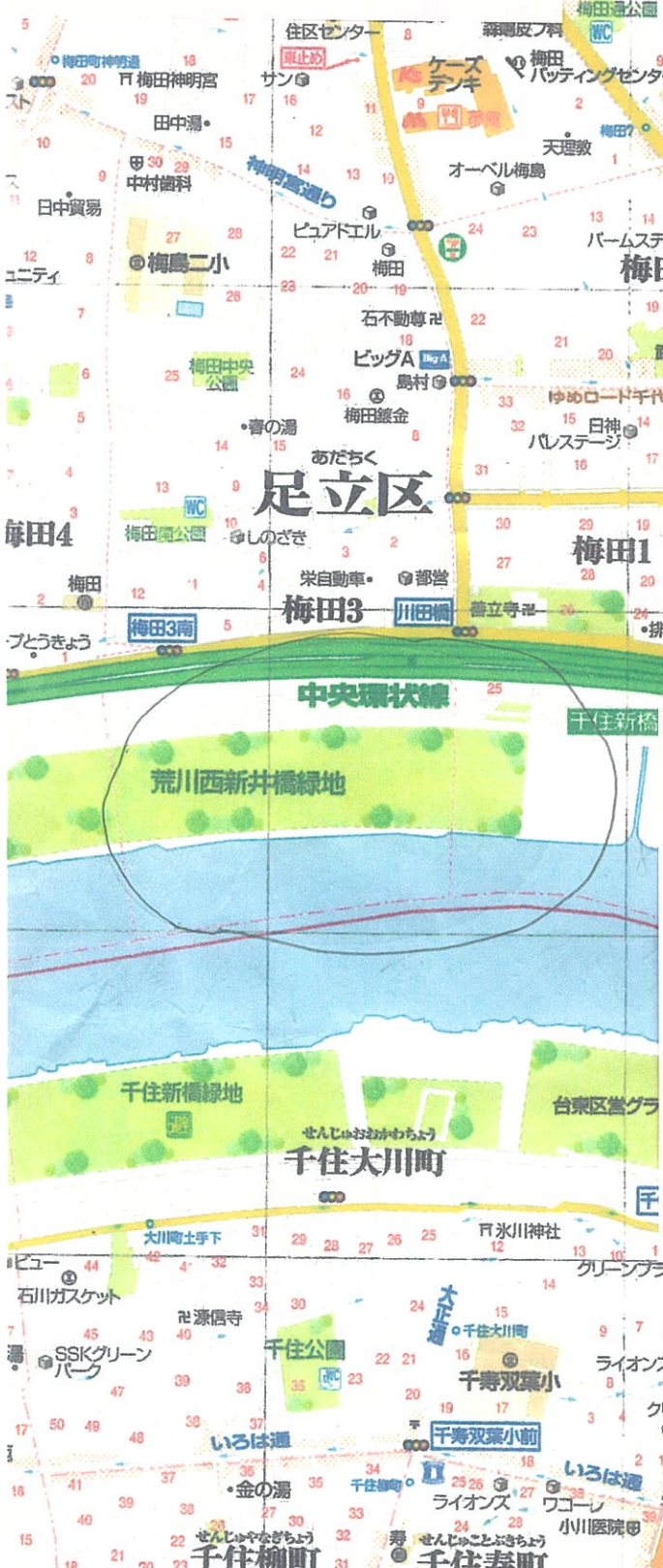
149



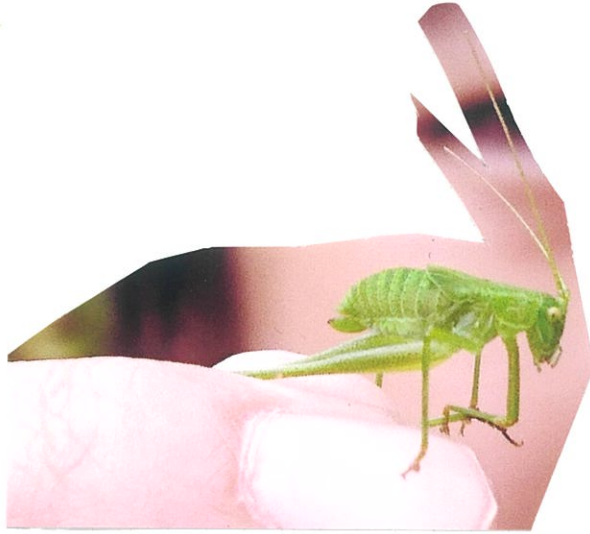
さい集場所
あら川河川じき

2019年8月19日

午前9時~11時



キリギリス



しよっかくが長い

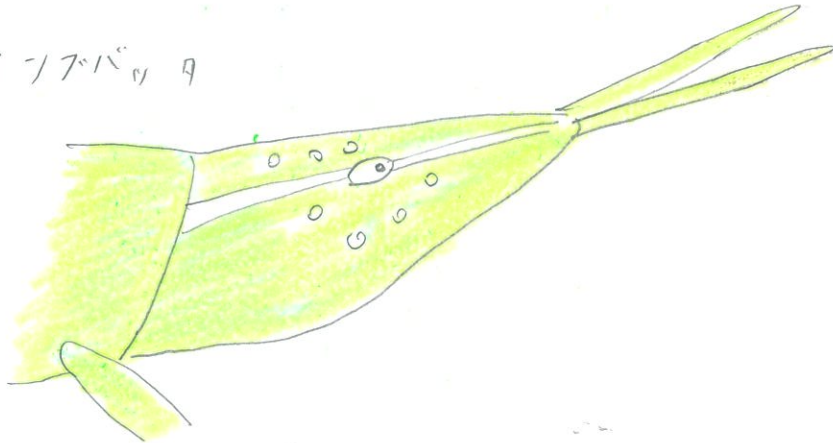


後ろあしが長い

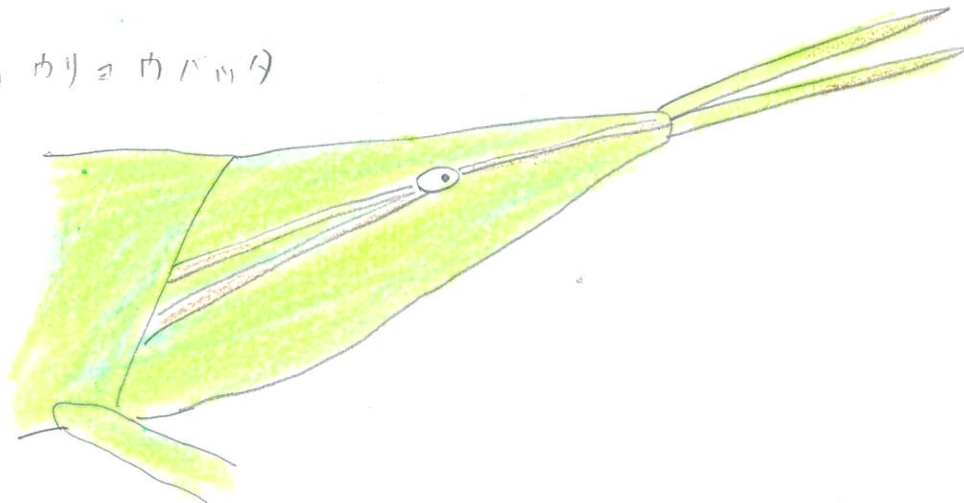
オソブバツタとショウリョウバツタのちがい

- ・ オソブバツタは顔にたくさんイボがあるけどショウリョウバツタは、黒や茶色のすじがある。
- ・ ショウリョウバツタは、飛ぶ時「キチキチキチ」と音をならして飛ぶ。
- ・ オソブバツタは、目のよこに白いすじがある。
- ・ ショウリョウバツタは、オソブバツタよりるcmほど大きい。

オソブバツタ



ショウリョウバツタ

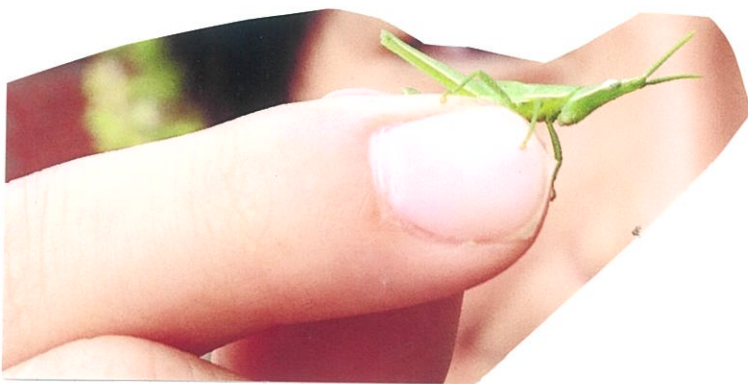


ショウリョウバッタ

- ・茶色や黒のすじがある
- ・オングバッタより大きい



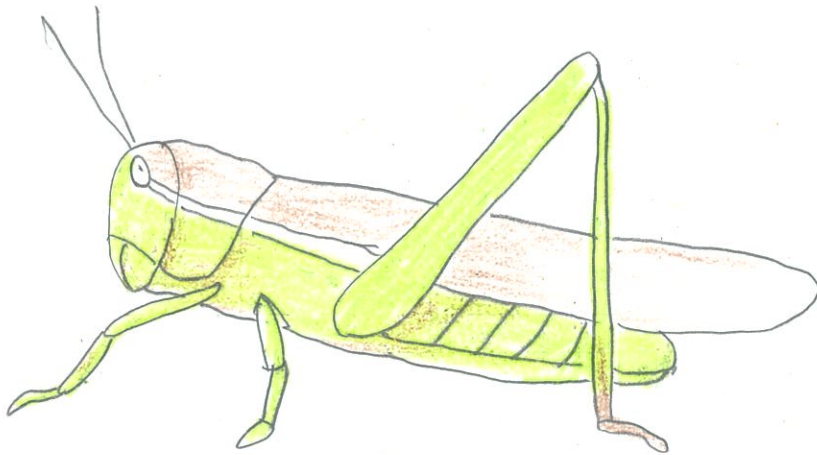
オングバッタ



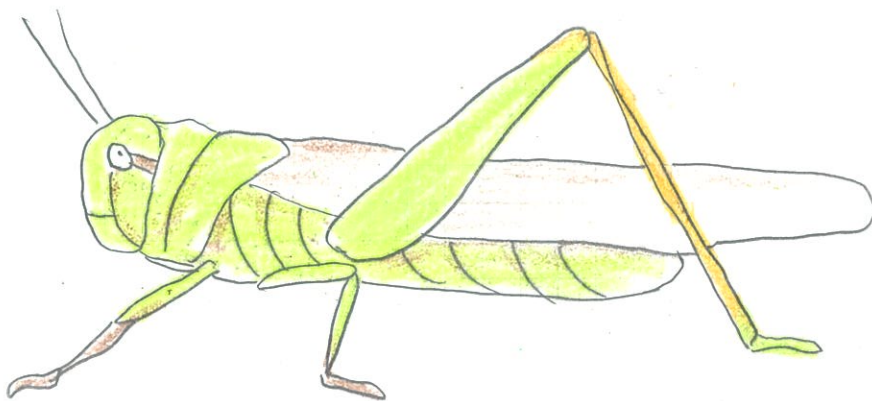
- ・目のよこに白いすじがある

バッタとイナゴのちがい

- ・イナゴは、目の上から足まで太い線が入っています。バッタは糸線が全く入っていません。
- ・トノサマバッタは、後ろあしがオレンジ色。
- ・イナゴはイネを食べるけどバッタはイネを食べません。



イナゴ



バッタ

イナゴのよう虫



イナゴはつくだにがあるのになぜほかは 食べないのか？

- トノサマバッタ、オリーブバッタは、イナゴと同じでまずくはないけどその他のバッタは、まずいから。
- トノサマバッタはよく飛ぶのでつかまえるのがたいへんなので、たくさん集めるのが手間がかかるから。
- イナゴはいねを食べるから害虫である。大りょうに発生するとこまるので、つかまえて食べたところおいしかったので、食りょうにした。
- イナゴは、つかれをとるビタミンB1や、ひん血をよぼうする葉さん、ほねや歯を作るのに大事なカルシウムやリン、マカネシウム、そのほか多くのえいようそや、たん白しつをふくんでいる。

イナゴのつくだに



デパートで
こう入して食べ
てみました。

味は甘くておいし
かたけれど
あしの部分が
のどにはさまった
感じがイヤだった。

自分でと、た虫も調理して食べてみた!

- ・イナゴだけがフくだにとして商品化されているので、ほかの似たような虫が、どうして食べられていないのかが気になり、さい集した虫たちを食べてみました。

「調理方ほう」

- ・水あらい後、ね、湯をかけて、さっきん、下しゅ理をしました。すると虫の色が、緑からレモン色に急変化しました。
- ・水分をよくふきと、てから、よくね、した油ですあげしました。
- ・小さいころ、ふるさとでイナゴをと、てよく食べていたという人の話をさん考にして、ふん出しをしました。ふん出しした方がおいしくなるそうです。



ふん出しした
あとの虫の
フン

「食べてみるの感想」

ふん出した虫たち

イナゴ

小さめのイナゴは、香ばしくてえびのしっぽの部分のようでおいしかった。
大きめのイナゴは、小さいイナゴより味が落ちた。

オノフバツタ

草の味がして、あまりおいしくなかった。

キリギリス

小エビのようで香ばしくて、とてもおいしかった。



ふん出した虫たち

・ ふん出ししなかつた虫たち

○ イナゴ

ふん出しした虫にくらべて、とても苦く
とくに大きめなイナゴは、すごく苦かっ
た。

○ オツブバツタ

草の味がして、とても苦かった。

○ キリギリス

ふん出ししてないのので苦みがあったが
小エビのようだった。



ふん出ししなかつた
虫たち

研究しての感想

- 今まで知っていたようなで知らなかった、キリギリスとバッタのちがいがよくわかってとてもおもしろかったです。
とくにキリギリスとバッタの体の高さがとてもちがうという点が一番きょう味深かったです。
- オフババッタとショウリョウバッタは、今まで同じ虫でよび方がちがうだと思っていましたが今回はじめてべつのもやし物だとよくわかりました。とても勉強になり、ますます虫が好きになりました。
- イナゴのつくだにはもちろん、今まで虫を食べたことがなかったのですが、今回色々な虫を食べてみて、虫によってや、ふん出ししているか、出してないかによって味にちがいがあることがよくわかりました。

さん考文けん

・小学館の図かん・NEO昆虫